



米国株投資は取り入れるべき？

“もみあげ流”

NISA活用術

米国株インフルエンサー もみあげ氏



ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点】

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.495%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：22米ドル（税込）

中国株式 約定代金の0.275%（税込）・最低手数料：550円（税込）・上限手数料：5,500円（税込）

アセアン株式 約定代金の1.10%（税込）・最低手数料：550円（税込）・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

- 米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

ETF/ETNのリスク（抜粋）

【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

【ETFにおける信用リスク】

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

【ETN発行体の信用リスク】

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

【早期償還等のその他のリスク】

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合は、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

目次

1. 米国株市況

2. 米国株式を取り入れる理由

3. 銘柄選びのコツ

4. 新NISAについて

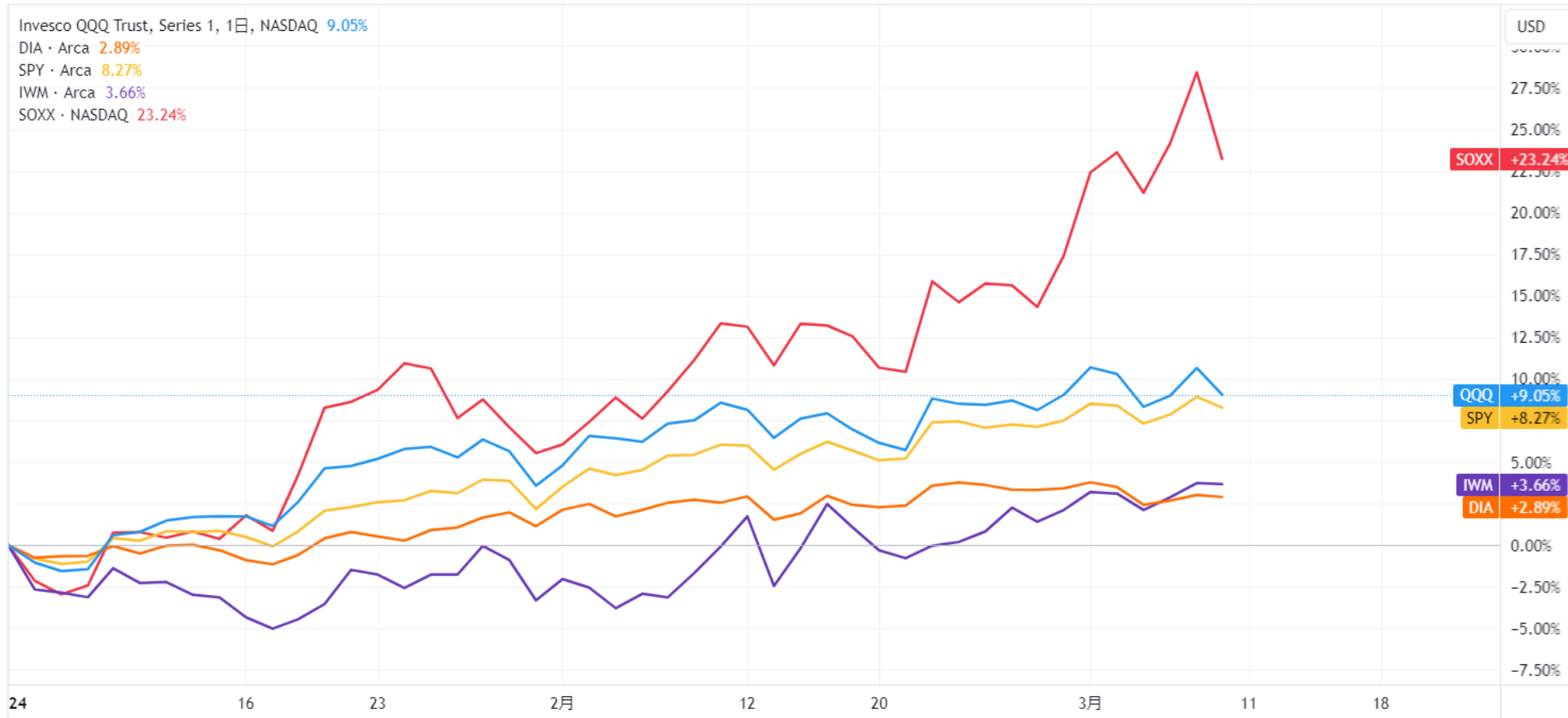
5. 終わりに

米国株市況-指数レベル

ナスダックが全体を牽引を昨年から変わらず。但し一部銘柄に偏り

momiage0088 が TradingView.com で 3月 10, 2024 01:41 UTC-6 に公開

Invesco QQQ Trust, Series 1, 1日, NASDAQ 9.05%
DIA · Arca 2.89%
SPY · Arca 8.27%
IWM · Arca 3.66%
SOXX · NASDAQ 23.24%



年初来

半導体指数+23.24%

ダウ+2.89%

S&P500+8.27%

ラッセル+3.66%

ナスダック+9.05%

赤：半導体指数

青：ナス

オレンジ：ダウ

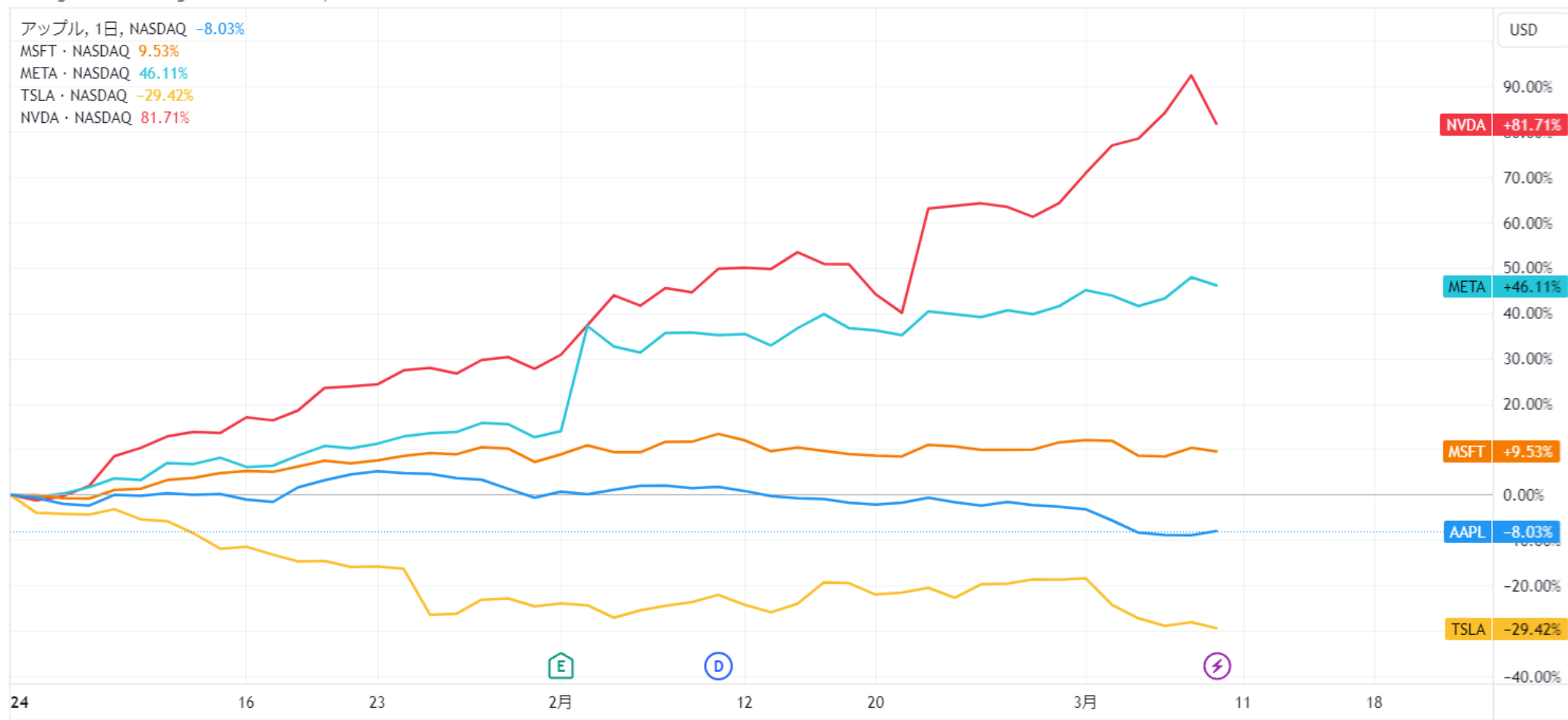
紫：ラッセル

黄色：SP500

米国株市況-テック大型株

NVDA (+87.71%)が圧倒的・時点としてはMETA(46.11%)が引っ張る

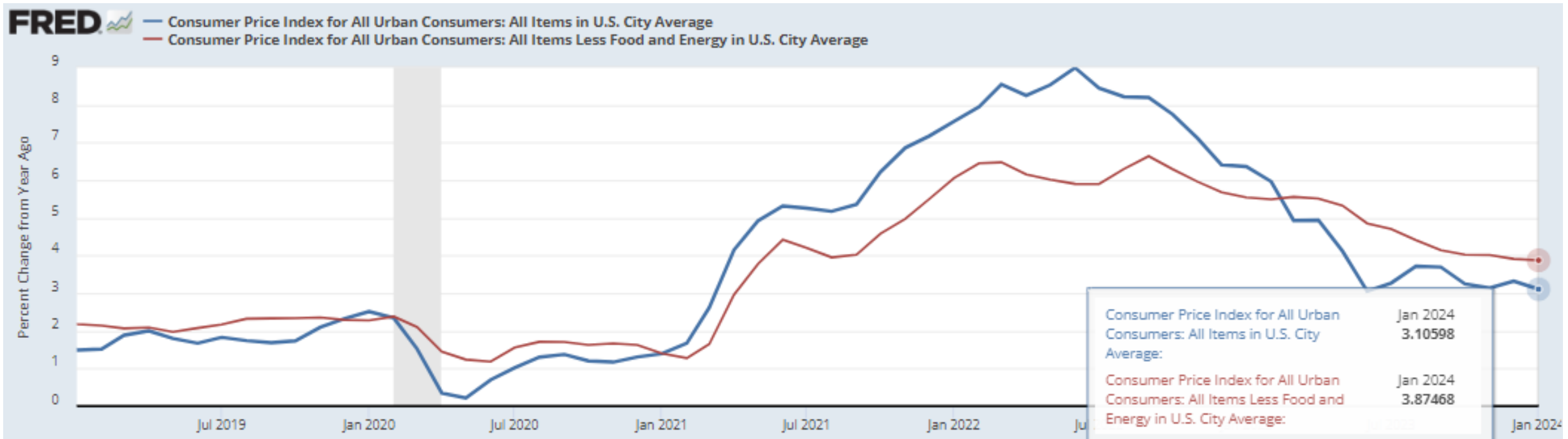
momimage0088 が TradingView.com で 3月 10, 2024 01:44 UTC-6 に公開



米国株市況-インフレ率の変遷

- ・ CPI総合指数は下がっているが横横に
- ・ CPIコア指数がまだ根強い高止まり感も

青:総合指数
赤:コア指数 (食品とエネルギー除く)

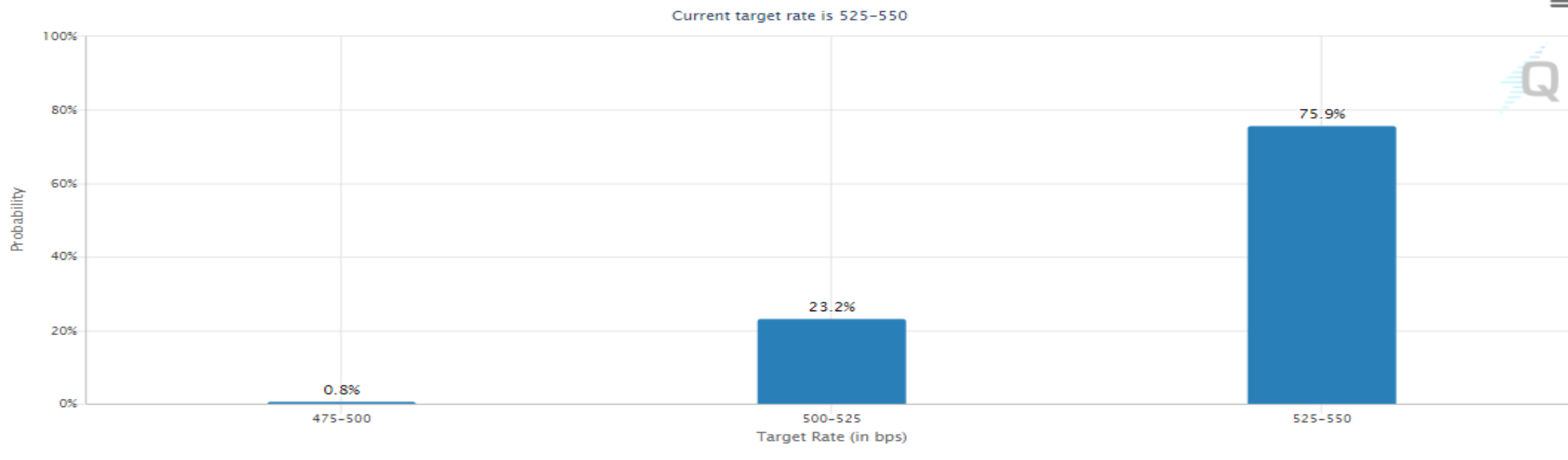


米国株市況-FOMC予想

2024年5月FOMC政策金利予想：利下げ予想は20%程度

MEETING INFORMATION						PROBABILITIES		
MEETING DATE	CONTRACT	EXPIRES	MID PRICE	PRIOR VOLUME	PRIOR OI	EASE	NO CHANGE	HIKE
1 5 2024	ZQK4	31 5 2024	94.7350	253,889	395,808	24.1%	75.9%	0.0%

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 1 5 2024 FED MEETING



TARGET RATE (BPS)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 8 3 2024	1 WEEK 1 3 2024	1 MONTH 5 2 2024
475-500	0.8%	0.8%	0.9%	8.5%
500-525	23.2%	23.2%	25.1%	52.2%
525-550 (Current)	75.9%	75.9%	74.0%	39.3%

* Data as of 10 3 2024 02:52:12 CT

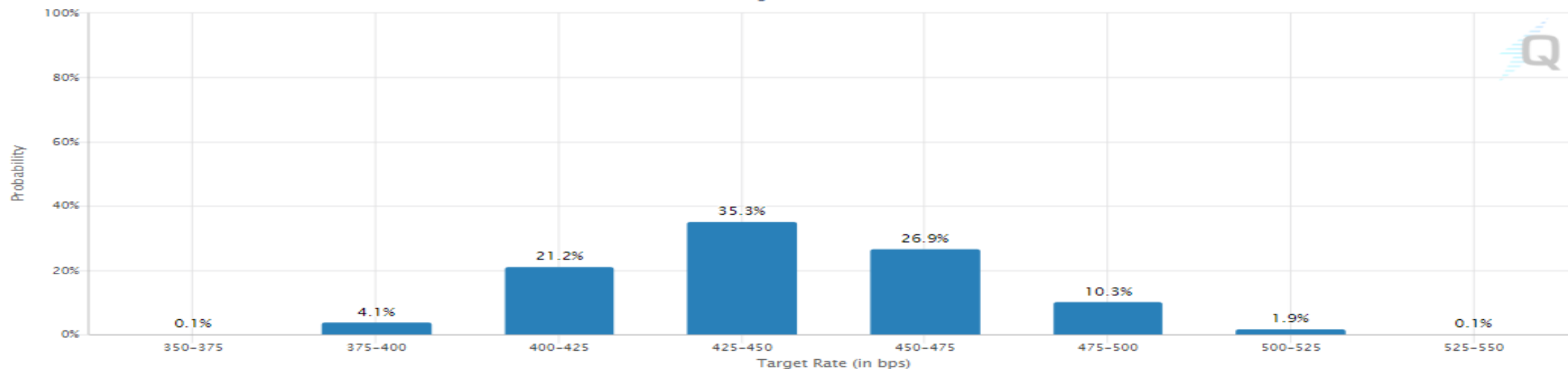
米国株市況-FOMC予想

2,024年12月FOMC政策金利予想：今の所3-4回の利下げが優勢（0.25%/回）

MEETING INFORMATION						PROBABILITIES		
MEETING DATE	CONTRACT	EXPIRES	MID PRICE	PRIOR VOLUME	PRIOR OI	EASE	NO CHANGE	HIKE
18 12 2024	ZQ24	31 12 2024	95.5050	4,379	13,908	99.9%	0.1%	0.0%

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 18 12 2024 FED MEETING

Current target rate is 525-550



TARGET RATE (BPS)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 8 3 2024	1 WEEK 1 3 2024	1 MONTH 9 2 2024
350-375	0.1%	0.1%	0.1%	1.9%
375-400	4.1%	4.1%	3.8%	14.9%
400-425	21.2%	21.2%	19.0%	32.1%
425-450	35.3%	35.3%	33.4%	31.1%
450-475	26.9%	26.9%	28.2%	15.5%
475-500	10.3%	10.3%	12.5%	4.1%
500-525	1.9%	1.9%	2.8%	0.5%
525-550 (Current)	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%

* Data as of 10 3 2024 02:50:34 CT

米国株市況-2024年サマリー

・ここまで

- ①半ばQE(Quantitative Easing：量的緩和)状態
- ②AIが強烈なトレンド・テーマになり関連銘柄が全体の押し上げ
- ③中国の不振によって米国株への資金流入
- ④米国企業の底堅い決算（駄目な企業は淘汰される）
- ⑤利上げか利下げかを繰り返しながらも過熱しすぎない需給状態

・これから

上記5つのテーマ次第+11月に予定される大統領選挙

米国株式を取り入れる理由

① 為替を考慮した資産分散

- 円建て資産とドル建て資産

② インフレ対応中のリスク資産

- 米国と日本のインフレの違い（インフレ対応型、インフレが追い風）

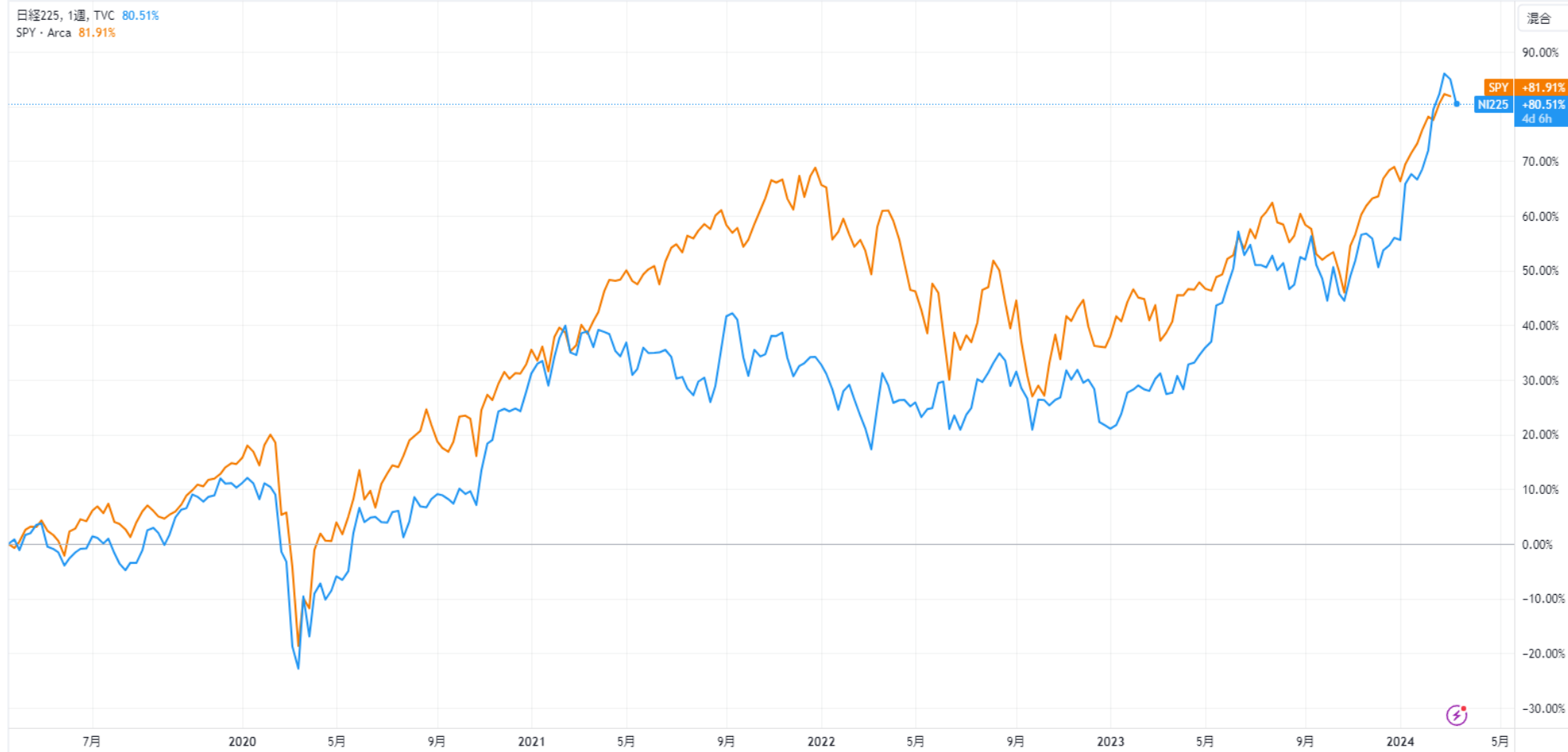
③ 安定運用

- 米国株インデックスの意味と日系平均の意味の違い

米国株式を取り入れる理由

5年間でS&P500と日系平均の上昇率はほぼ同じ

momiage0088 が TradingView.com で 3月 10, 2024 19:56 UTC-5 に公開



米国株式を取り入れる理由①

ドル円が今後どのように動くかはわからない
ただどちらかの通貨に偏るのはリスクを取りすぎてる可能性

1970年以降を見ると1995年からは150円以下のレンジ圏にすることがわかる



5年間はドル高傾向。米国のインフレ状況をピュアに反映（日銀の緩和政策の円安も）



米国株式を取り入れる理由②

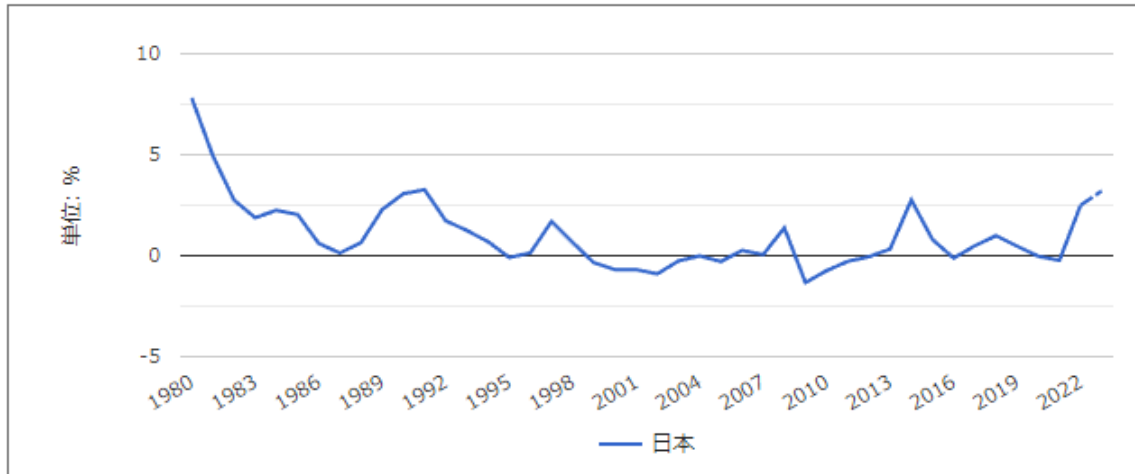
インフレに対応しながらも株価上昇
賃金も急激に上昇してきたことにより地銀の破綻やレイオフを繰り返してる



☆超重要ポイント・米国ではインフレに負けない為の資産形成

米国株式を取り入れる理由②

インフレ率は2022年から急激に上昇、名目賃金は鈍化・実質賃金は下落
→日経平均株価には追い風



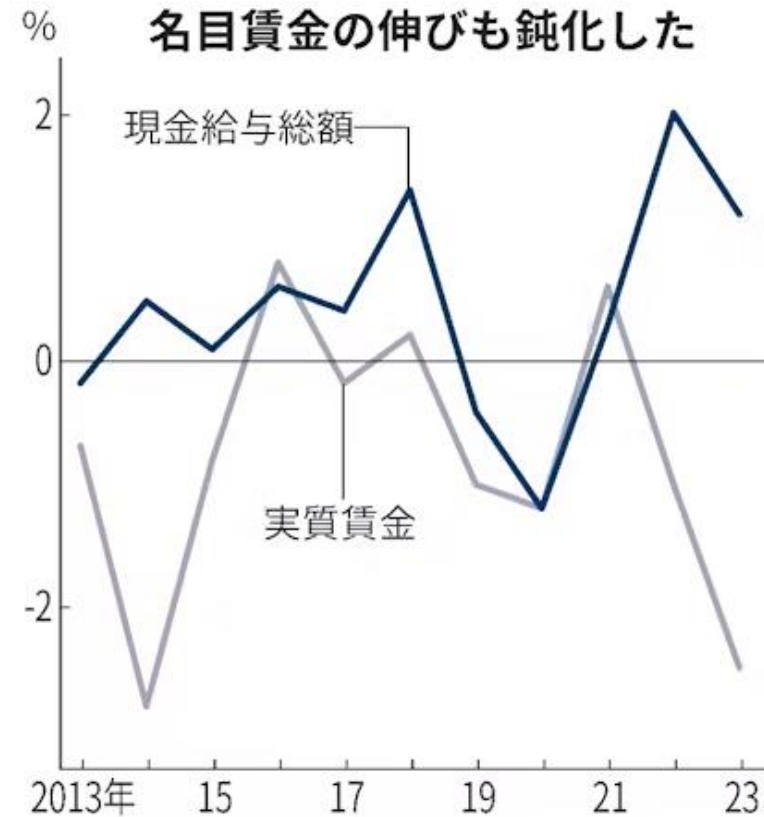
◦ 日本と比較 ◦ 5年先の見通し ◦ 画像出力

年	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
日本	7.81	4.94	2.75	1.88	2.25	2.04	0.61	0.13	0.65	2.29
年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
日本	3.07	3.27	1.73	1.25	0.69	-0.09	0.14	1.70	0.65	-0.35
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
日本	-0.69	-0.69	-0.90	-0.26	-0.01	-0.29	0.26	0.05	1.38	-1.33
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
日本	-0.74	-0.28	-0.05	0.33	2.76	0.80	-0.12	0.49	0.99	0.47
年	2020	2021	2022	2023						
日本	-0.03	-0.23	2.50	3.21						

単位: %

※ 数値はIMFによる2023年10月時点の推計

※年平均値



(注)出所は厚労省、前年比増減率

米国株式を取り入れる理由②

2022年から急激に各種インフレ指数が上昇している

図1 総合指数の動き

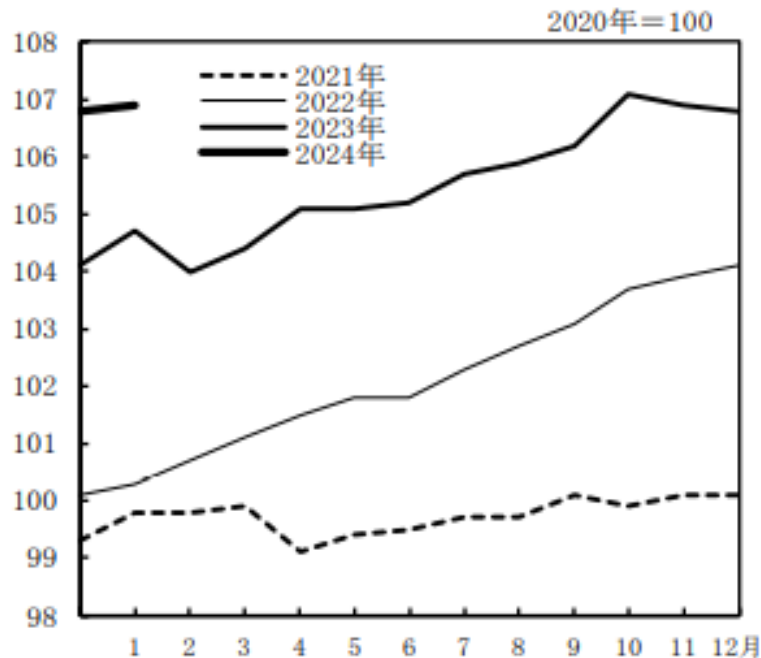


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

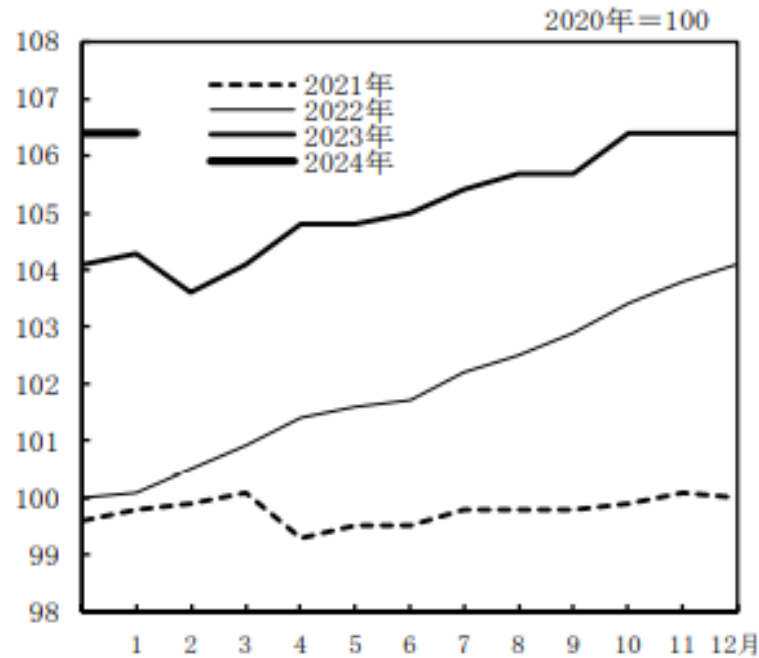
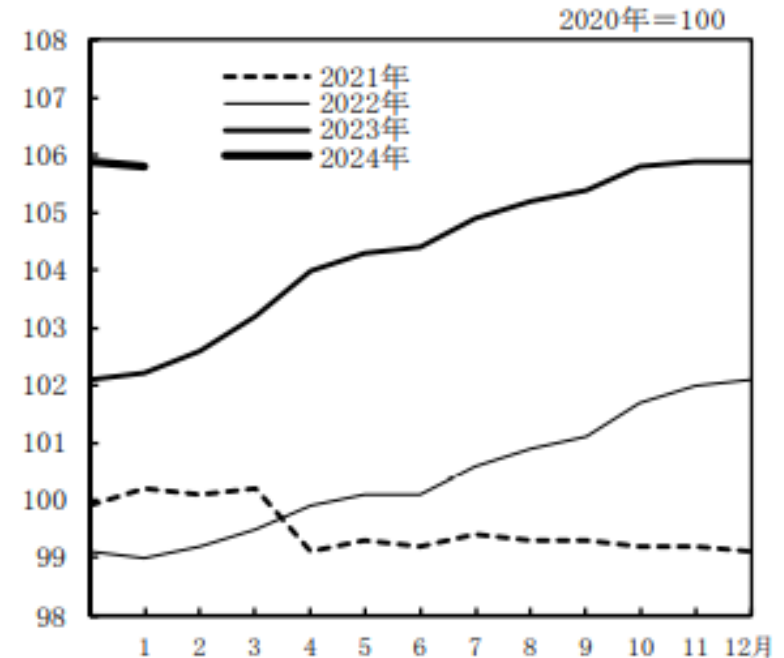


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



米国株式を取り入れる理由③

資産形成に関して米国で暮らしていると必ず耳にするのが不動産投資です。
不動産投資の話は普通に日常会話で話に出るほど一般的だなという印象。
逆に株式投資の話はコロナ以降では耳にするときもあったけど、ほとんど話に出ない。

それは何故か？

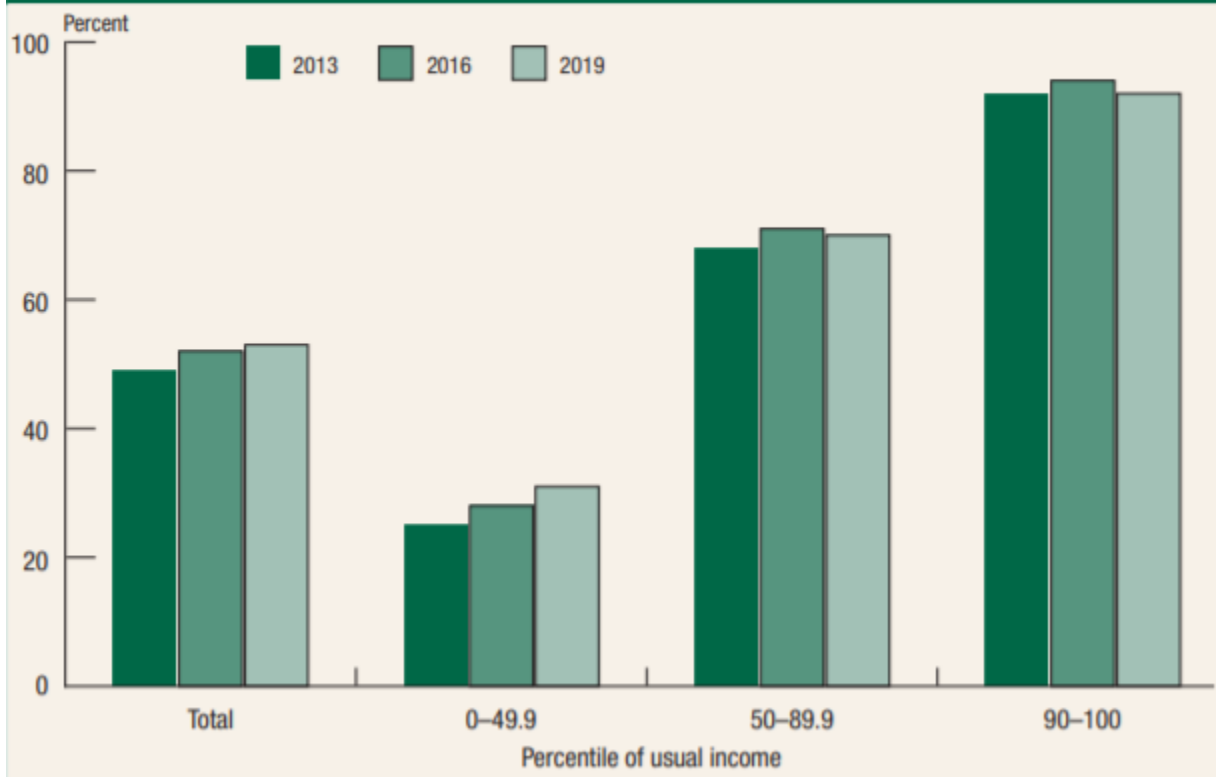
株式投資自体を資産形成として取り組んでいる人が多くない。（積み立て貯金感覚）
401KやIRAという日本で言うiDecoや新Nisaのような仕組みを使って、
自動的に積み立てするのが一般的です。

暴落があったとしても、長期的には上昇するという認識がある。（FRBも強く意識）
→長期的に上昇していかないと年金という意味でそもそも国が破綻する

米国株式を取り入れる理由③

FRBも株価を強く意識している（年金運用に超重要）
米国中間層以上は株式運用が基本

Figure A. Families with direct and indirect holdings of stock, 2013–19 surveys



2019年の米国世帯株式所有率53%

米国株式資産は32%

米国では中間層以上の株式保有率が70%

上位中間層は90%

それに対して中間層以下の保有率は30%

中央値

中間層以下は1万ドル

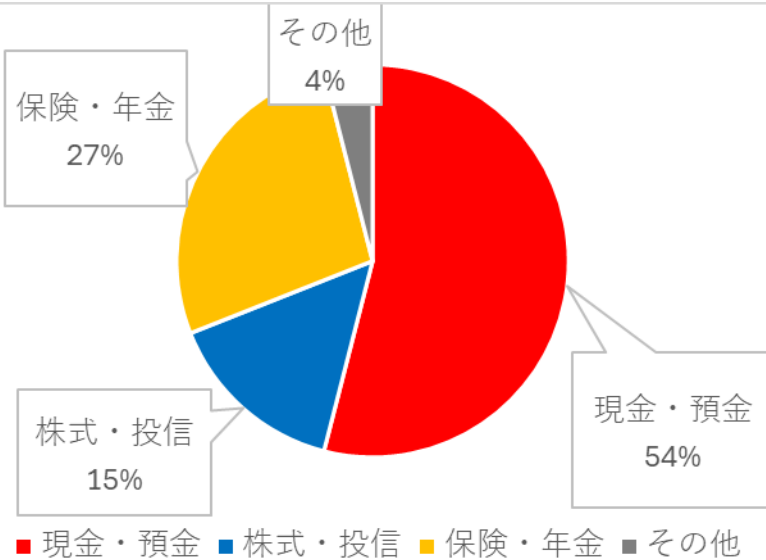
中間層以上は4万ドル

上位10%は44万ドル

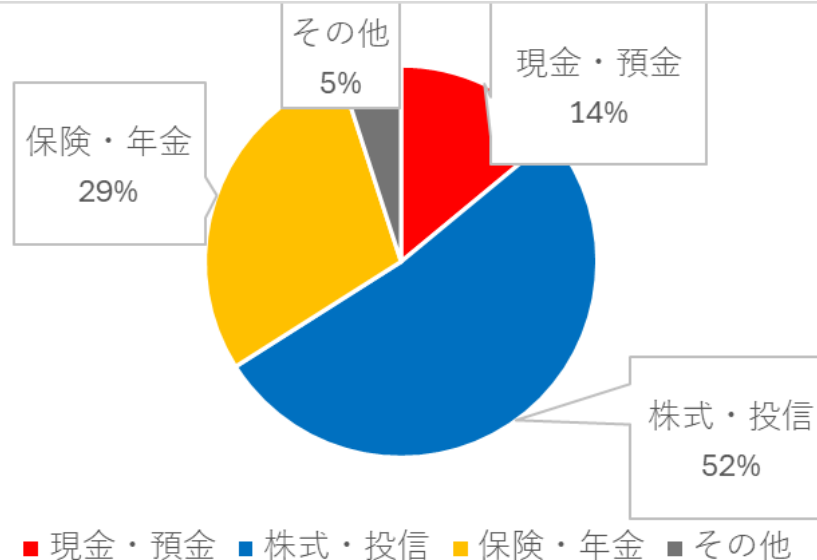
米国株式を取り入れる理由③

米国の株式・投信への比率が非常に高い（S&P500の強み）
日本も今後増える事によってはじめて安定運用が可能になる

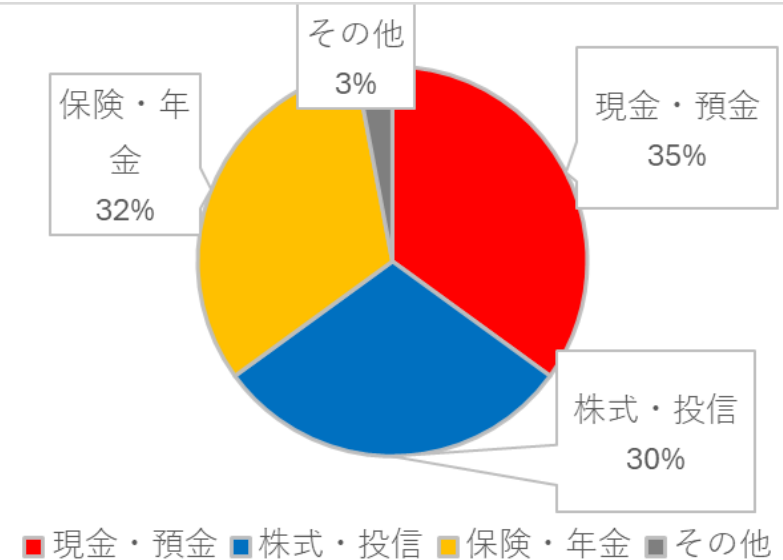
【日本】
現金・預金比率が高い



【米国】
株式・投信比率が高い



【ヨーロッパ】
バランスファンド的

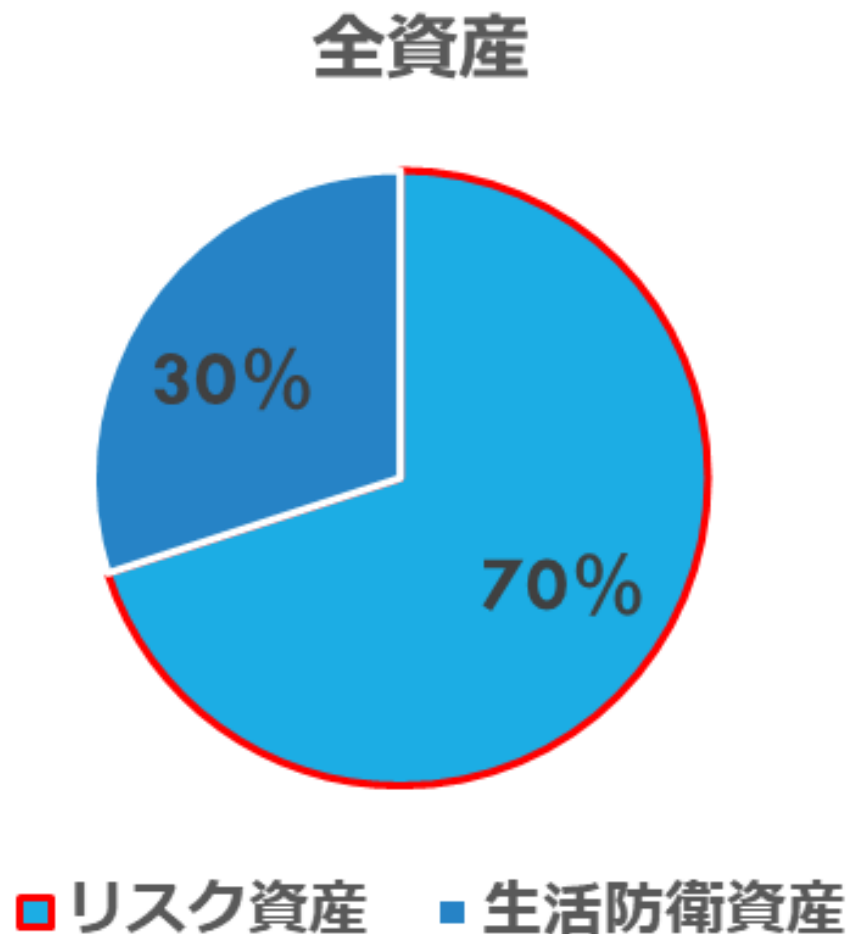


銘柄選びのコツ

- ① リスク資産と生活防衛資産に区分け
(アセットアロケーション)
- ② リスクヘッジ
- ③ SP500の構造とモメンタム
- ④ 基本ETF

銘柄選びのコツ-①アセットアロケーション

全資産をまずリスク資産と生活防衛資産で分ける・アセットアロケーション



1st 資産整理する

2nd 年間の収益を計算する

3rd ライフイベントの予算取り

4th 1&2&3を総括してのリスク資産割り当てを決める

銘柄選びのコツ-②リスクヘッジ

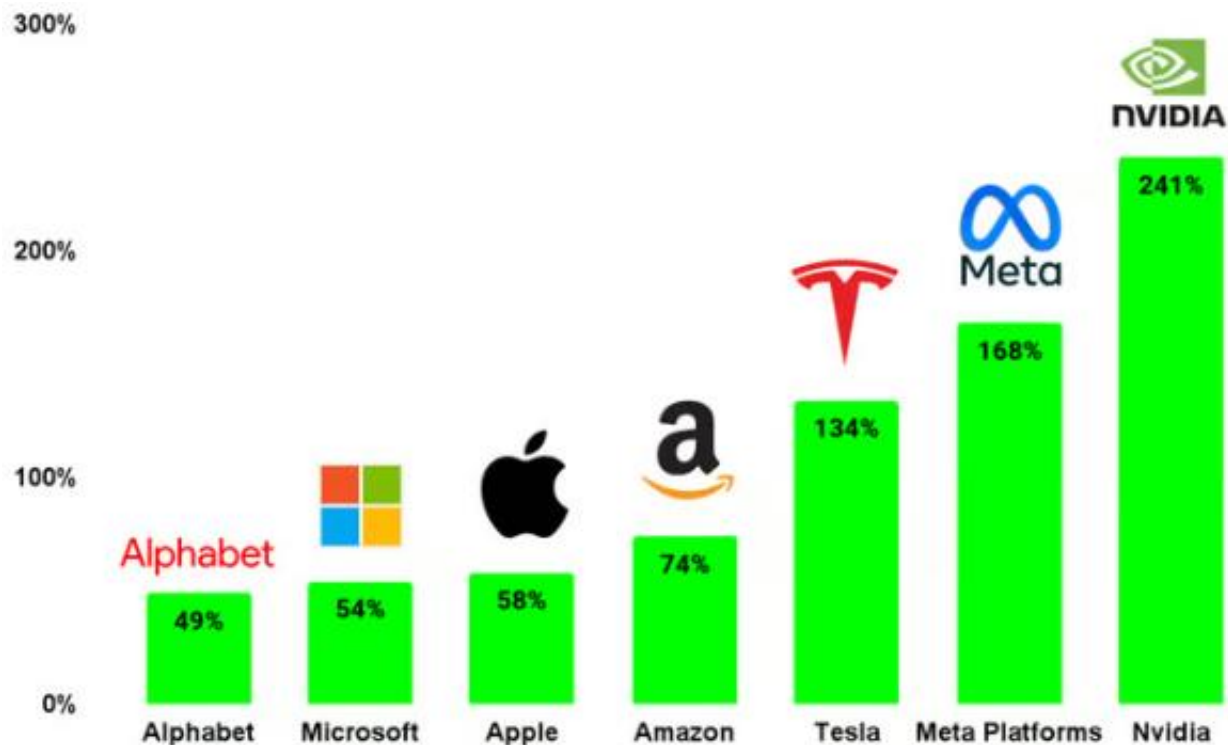
暴落や急落が来ても投資できる銘柄を選ぶ
モメンタムも意識する

暴落名	暴落率	暴落期間	暴落時期	回復期間
ブラックマンデー	-30%	4か月	1987年8月-1987年11月	8か月
ITバブル崩壊	-46%	2年1か月	2000年8月-2002年9月	6年9か月
リーマンショック	-52%	1年4か月	2007年10月-2009年2月	5年5か月
コロナショック	-20%	3か月	2019年12月-2020年3月	7か月

銘柄選びのコツ-③SP500の構造とモメンタム

2023年もテック大型が牽引したマーケット

【2023年M7リターン】



<https://www.nasdaq.com/articles/2-magnificent-seven-stocks-youll-want-to-buy-in-2024-like-theyre-going-out-of-style>

出所：ダウ・ジョーンズ・マーケット・データ、ファクトセット

銘柄選びのコツ-③SP500の構造とモメンタム

大型テックにもモメンタムは存在する
半導体（AI）が強烈なトレンドに

AMD（年初来+70%）やSMCI(年初来+300%)など関連株も急騰

【2023年リターン】



【2024年アナリスト評価】



銘柄選びのコツ-③M7以外のモメンタム銘柄

M7以外にも株価が強く上昇してる銘柄があるのが米国株の魅力

【ANF：アバコロンビィフィッチ】

一般消費財セクター

時価総額：5.98B USD

アメリカの小売り・アパレル

1年間のリターン：21.75→117.5（約5.5倍）

【LLY：イーライリリー】

ヘルスケアセクター

時価総額：3.68B USD

糖尿病治療薬と肥満治療薬で躍進

1年間のリターン：320→740（約2.5倍）

momage0088 が TradingView.com で 3月 11, 2024 04:06 UTC-5 に公開



TradingView

momage0088 が TradingView.com で 3月 11, 2024 04:07 UTC-5 に公開



TradingView

銘柄選びのコツ-③M7以外のモメンタム銘柄

M7以外にも株価が強く上昇してる銘柄があるのが米国株の魅力

【CELH：セルシウス】

一般消費財セクター

時価総額：20.69B

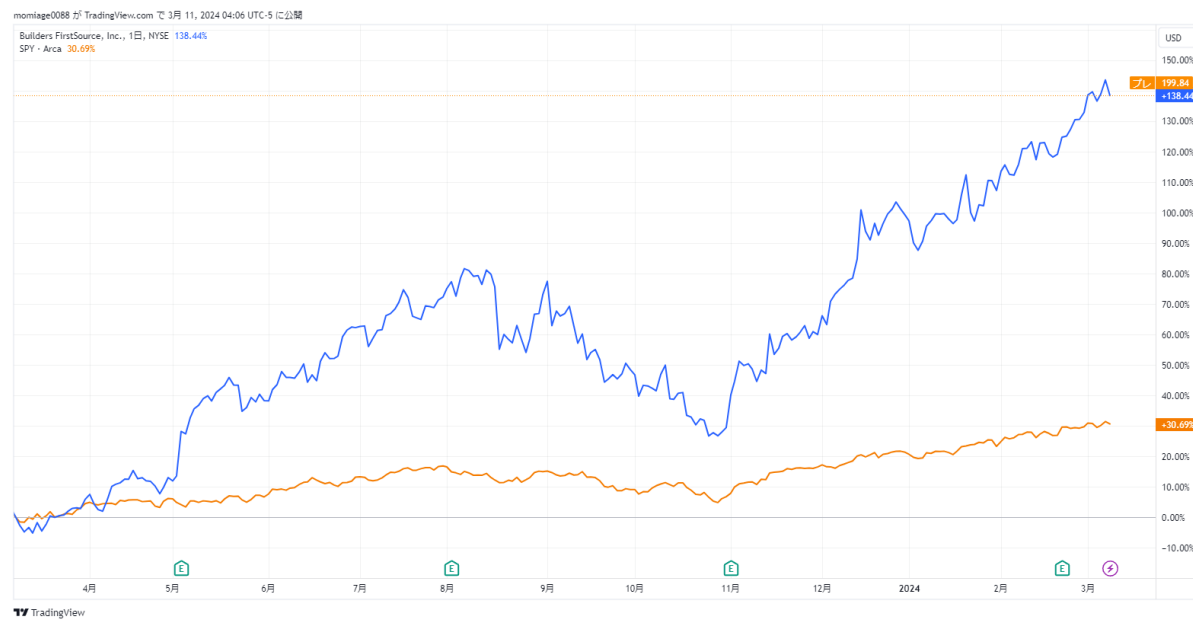
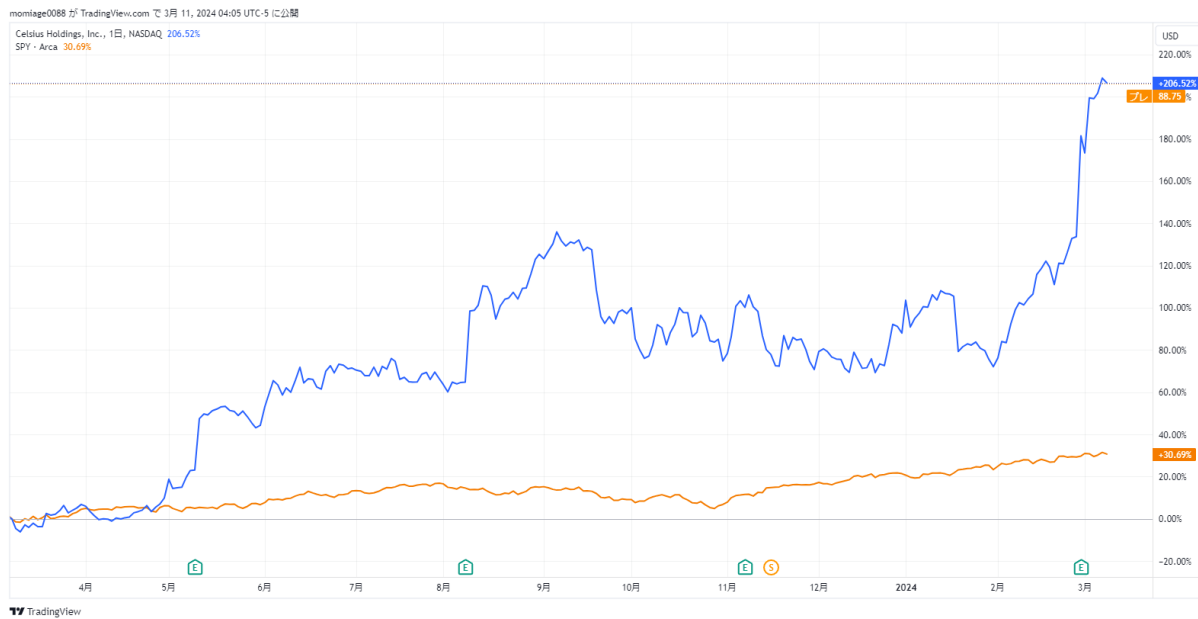
カフェイン入りのドリンク・プロテインなど
1年間のリターン：29.5→88.74（約3倍）

【BLDR：ビルダーファーストソース】

建築資材メーカー・サプライヤー

時価総額：24.37B USD

米国の住宅需要の強さが魅力
1年間のリターン：87.5→199.84（約2.5倍）



銘柄選びのコツ-④基本ETF

S&P500
インデックス
(全米含む)

VOO

配当率1.48%
507銘柄
トップ10で31.05%
時価総額荷重平均

SPY

配当率1.43%
503銘柄
トップ10で31.43%
時価総額荷重平均

VTI

配当率1.48%
3,793銘柄
トップ10で26.82%
時価総額荷重平均

成長

QQQ

配当率0.57%
101銘柄
トップ10で45%
時価総額荷重平均

VGT

配当率0.69%
323銘柄
トップ10で61%
時価総額荷重平均

VGT：MSCI US Investable Market
Information Technology Index

データは2023年10月時点

高配当

VYM

配当率3.26%
469銘柄
トップ10で25%
時価総額荷重平均

HDV

配当率4.07%
81銘柄
トップ10で54%
時価総額荷重平均

SPYD

配当率4.89%
82銘柄
トップ10で15.5%
高配当利回り上位80銘柄
にほぼ均等に投資するETF

銘柄選びのコツ-サマリー

1. 難しいならSP500一択（VOOやSPYなど）
2. リスクの取り方を考える（家庭・環境に応じて）
3. 焦らない（マイペースが大切・新NISA）
4. 株式はリスク資産（生活防衛資金は残して）

新NISAの仕組み

	新NISA	
	つみたて投資枠	成長投資枠
併用	可	
年間投資枠	120万円	240万円
非課税保有限度額	1800万円 (うち成長投資枠1200万円)	
非課税期間	無期限化	
口座開設期間	恒久化	
投資対象商品	つみたてNISAと同じ	上場株式・投資信託等 (一部対象除外あり)
対象年齢	18歳以上	

- ・ 積立投資枠は毎年120万円積み立てた場合は15年必要
- ・ 成長枠を最大枠毎年埋めた場合は5年間で枠を使い切る
- ・ 売却した場合、当年は枠は復活しないが翌年から同じだけの枠が復活する

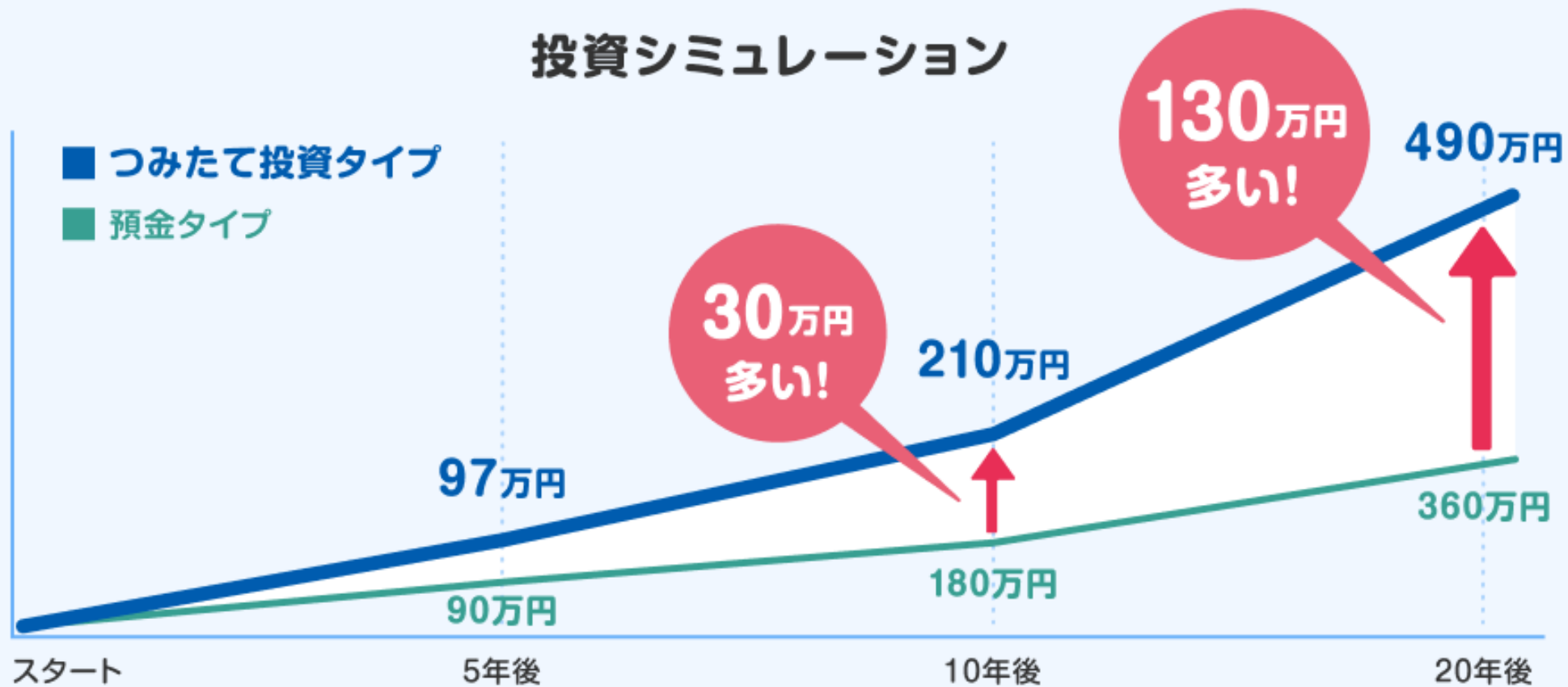
(提案)

- ・ 積立枠は基本
- ・ 成長枠を枠の活用のスピードアップ or 短中期のモメンタムを利用したキャピタル狙いの売買に活用

新NISAの仕組み-積立枠

年利3%程度と考えると長期間続ける積立枠と考える

投資シミュレーション



※つみたて投資は年利3%で試算 ※預金は年利0%で試算
※制度の仕組みの説明であり、将来の運用成果を示唆するものではありません

終わりに

- ・ 個人投資家はマイペースに
- ・ 誰も未来は予想はできない。予想が外れたらアジャストする柔軟さは大切
- ・ チャンスを逃さない準備も同時に
- ・ 周りに影響されずコツコツと

いい時ほどクールに！ラッキーだな位の余裕を持った運用を！